

2018年7月19日

日本ユニシス
本田技研工業の充電サービス「Honda Charging Service」に
モビリティサービスプラットフォーム「smart oasis® for charging」を提供
－ モビリティのサービス化 (MaaS) を支える IT 基盤を構築 －

日本ユニシスは、本田技研工業が2018年7月19日から開始する充電サービス「Honda Charging Service」に、モビリティサービスプラットフォーム「smart oasis for charging」を提供します。本プラットフォームは、クラウド型でシステム機能を提供し、充電サービスをはじめとしたモビリティサービスの事業運営に必要な会員管理・サービス管理・課金決済などを実現します。これまで、日産自動車、フォルクスワーゲングループジャパンなどに採用されており、MaaSを支えるサービスプラットフォームとしては、国内市場シェアNo1となります。

【概要】

日本ユニシスが提供する「smart oasis for charging」は、今後のEVシフトを踏まえ、多様なプレーヤーによる事業参入を想定し、マルチテナント方式（複数事業者による共同利用方式）でシステムを利用することができるプラットフォームです。充電サービス事業者^(注1)は、少ない初期投資と短い導入期間で、充電カードの発行、設置した充電器の管理が可能となります。今回、本田技研工業の「Honda Charging Service」に「smart oasis for charging」のサービスを提供することで、多様化する顧客ニーズに迅速かつ柔軟に対応し、充電サービス事業者、充電器設置事業者^(注2)の継続的な競争優位性を実現します。

【本田技研工業に提供する「smart oasis for charging」サービスとは】

本田技研工業では、7月19日より「Honda Charging Service」のサービス提供を開始します。このサービスは、NCSネットワークサービス^(注3)に加盟、提携する全国の高速道路SAや道の駅、ショッピングセンターなどに設置している充電ステーションをご利用できます。

日本ユニシスは、「smart oasis for charging」によって、Honda販売店に設置された急速充電器の利用者認証や充電サービス管理に加えて、充電サービス利用料の課金・決済サービス、ユーザーサポートサービスなどの提供を行い、「Honda Charging Service」の運用を全面的に支援します。

本田技研工業における「Honda Charging Service」の主な内容は以下のとおりです。

1. 充電サービス利用料の課金・決済

専用の利用者カードを用いた利用者認証によって充電ステーションの使用が可能となります。利用料は、登録されたクレジットカードから引き落としされます。利用者登録は店頭にて、専用のweb端末からの申し込みが必要です。

■ 「Honda Charging Service」 の利用者カード



2. 通信機能を内蔵した急速充電器を用いた ICT システム

Honda 販売店に通信機能を内蔵した急速充電器が設置されます。急速充電器には IC カードリーダーと通信機能を内蔵し、使用開始時、使用終了時のデータや定期的なデータ通信をデータセンターに設置された管理システム (smart oasis for charging) との間で行います。利用者へリアルタイムに充電器の満空情報を提供するほか、充電器の状態を遠隔から監視しメンテナンスをサポートします。

■ 「Honda Cars」 に設置した急速充電器 (例)



3. リアルタイムの充電スタンド情報の提供

「smart oasis for charging」とホンダカーナビゲーションとのシステム連携により、PHEV 用カーナビゲーション向けに、リアルタイムの充電スタンド情報の配信を行います。PHEV 用カーナビゲーションの利用者は、最寄りの充電スタンドの位置情報や利用可能時間などの情報を確認することができます。



4. コールセンターによる 24 時間 365 日のユーザーサポート

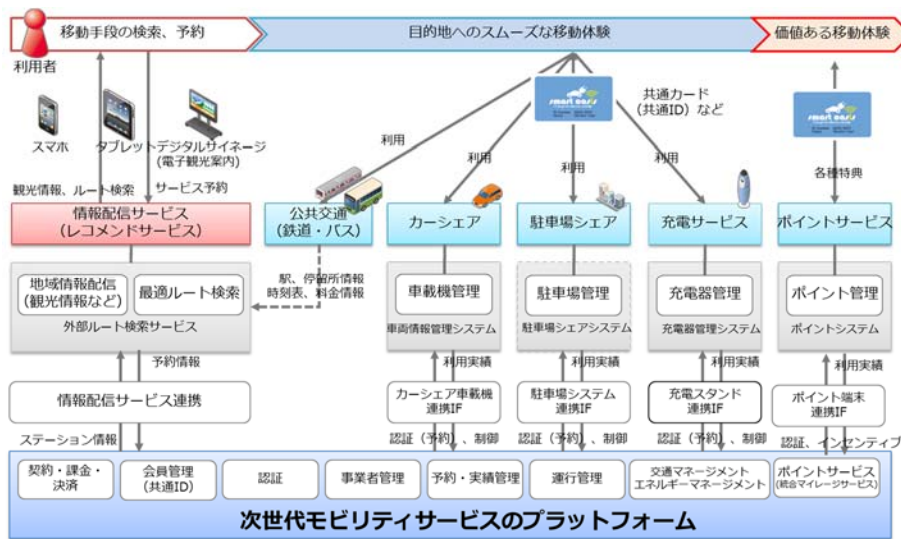
充電サービスの利用におけるユーザーサポートや申し込み時の問合せ対応、また、利用時のトラブル対応などの窓口として 24 時間 365 日のサポート体制を整備します。本サービスは、日本ユニシスが運営するコールセンターでサポートします。

【今後の展開】

日本ユニシスは、2009 年から他社に先駆けてクルマの EV 化に対応した電気自動車 (EV)・プラグイン ハイブリッド車 (PHV) 向け充電インフラシステムサービス「smart oasis for charging」を開始し、自動車メーカー向けサービスやユーザー向けサービスの拡充を行ってきました。また、クルマの「所有から利用」への動きが進む中、国内各地でカーシェアリングサービス「smart oasis for Carsharing^(注4)」への展開なども進めています。そして、モビリティのサービス化 (MaaS = Mobility as a Service) の動きが加速する中、次世代モビリティサービスのプラットフォーム化を進めています。

日本ユニシスは、EV 化やサービス化、さらには異業種参入といったクルマを取り巻く環境が大きく変わろうとしている中で、モビリティサービスの IT 基盤を拡充し、充電サービス、カーシェアサービスに留まらず、業界を越えて連携する「ビジネスエコシステム」の中核となって、今後も、便利で安心な移動を実現する革新的なサービスを創造していきます。

■ 次世代モビリティサービスのプラットフォーム化のイメージ図



以上

■注1：充電サービス事業者

電気自動車(EV)ユーザー等と利用に関する契約を締結のうえ、認証カード等を発行し電気自動車(EV)向け充電サービスを提供する法人。

■注2：充電器設置事業者

充電サービスを提供するために充電器を設置する法人。

■注3：NCSネットワークサービス

合同会社日本充電サービス (NCS) が提供する充電インフラネットワークサービス。全国に2万基を超える充電器ネットワークを構築しています。

■注4 : smart oasis for Carsharing

日本ユニシスの「smart oasis for Carsharing」は、電気自動車 (EV) やプラグイン ハイブリッド車 (PHV) の利活用形態として注目されるシェアリングサービスの事業運営に必要となる利用者認証機能や課金機能および運行管理機能等を提供するシステムサービスです。

※smart oasis は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※関連リンク

「smart oasis for charging」 <http://smartoasis.unisys.co.jp/>

「smart oasis for Carsharing」 <https://carshare.smartoasis.jp/home>

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。